

令和 6 年度
岡山県におけるカワウねぐら利用状況
調査報告書 （冬季調査）



＜カワウのなる木＞

日本野鳥の会岡山県支部

令和 7 年 2 月

岡山県における冬季のカワウのねぐら利用個体数調査報告

1. 目的

近年、個体数・分布域が増加・拡大し、農林水産業等に被害を与えているカワウについて、生息状況を把握し、今後の鳥獣被害防止対策の適正な推進のための基礎資料とする。

2. 調査の内容

県内の冬季カワウのねぐらを観察し、カワウの生息状況について調査した。

3. 調査の方法

(1) 調査回数及び調査時期

年1回（冬季）カワウの生息状況のモニタリングのため、ねぐらにおける個体数調査をカワウがねぐらとしている場所を特定しておいて12月中旬から1月上旬の間に行った。

(2) 調査場所

県内のコロニー及びねぐら

(3) 調査事項

カワウの個体数等

① コロニー及びねぐら入りしている個体数

② コロニー及びねぐらへ帰還してくる個体数及び飛来方向

なお、ねぐらへ帰還してくる日没前後の時間帯において個体数及び飛来方向等を調査しその記録を記した調査記録用紙は別紙「令和6年度 岡山県における冬季のカワウねぐら利用状況調査報告書 資料編」に示す。

4. 調査結果

本年度県内で冬季に生息するカワウの羽数は、5,368羽（昨年度5,992羽）であった。その内、吉井川水系で973羽（昨年度1,068羽）、旭川水系で1,809羽（昨年度1,723羽）、高梁川水系で1,268羽（昨年度1,540羽）、そして海上部諸島と海岸域での湖沼で1,318羽（昨年度1,661羽）の生息分布であった。

確認できたカワウのねぐら確認場所とカウント羽数を表-1に示す。

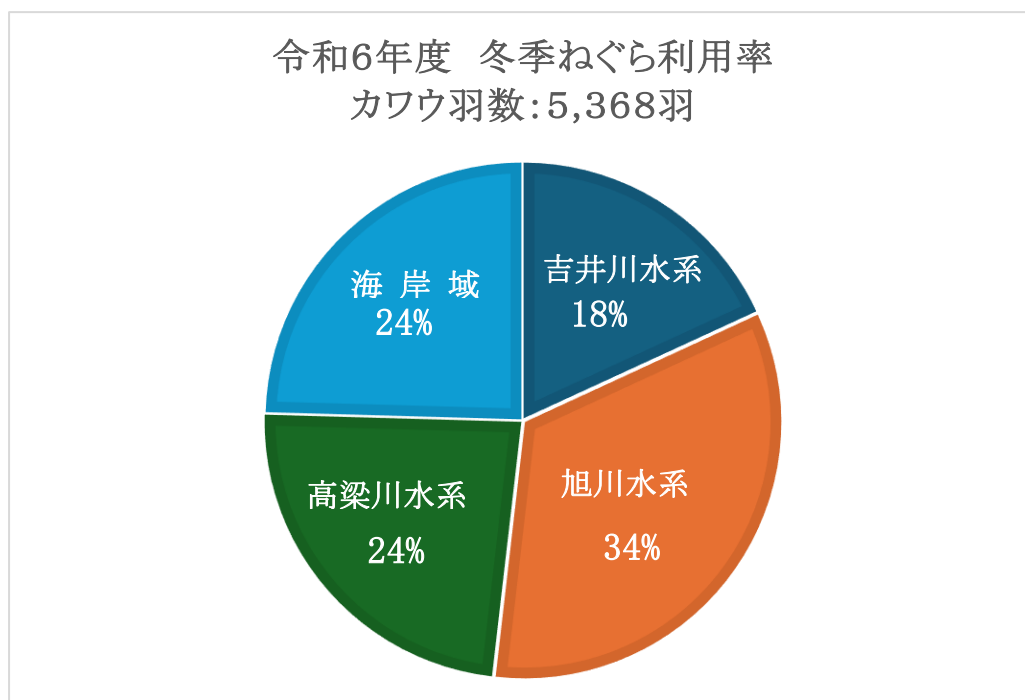
カワウのコロニー・ねぐら調査箇所は、33か所行い、その中で利用していた箇所は、29か所であった。利用されていない箇所は、繁殖期のコロニーとして利用していた場所と忌避テープが張られた場所であった。

表一 令和 6年度 冬期ねぐらにおけるカワウ生息数調査

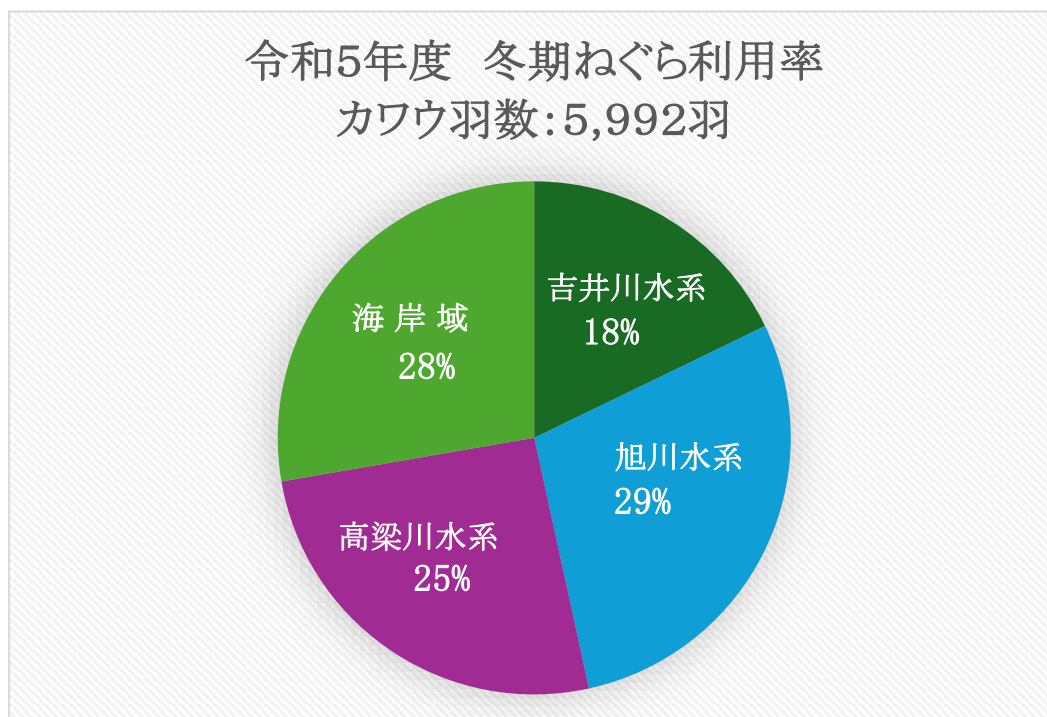
No.	河川名	ねぐら場所	調査日	本年個体数	備考	昨年個体数
1-1	吉井川	岡山市東区川口 中州 観音院対岸	12月30日	566		491
1-2	"	岡山市東区百枝月 豆田対岸	12月15日	144		312
1-3	"	赤磐市熊山勢力 山陽道橋下流	12月20日	36		82
1-4	"	和気町佐伯塩田 備作大橋下流	12月16日	62		42
1-5	"	津山市瓜生原 押淵上バス停対岸	12月11日	51		0
1-6	"	津山市宮尾 新錦橋上流	12月10日	0	防鳥ネット有り	62
1-7	"	鏡野町 奥津湖 苫田大橋下流	12月10日	26		20
1-8	琵琶首川	奈義町御所野 神五郎池	12月12日	42		5
1-9	肘川	勝央町福吉 切池	12月12日	12		2
1-10	吉野川	美作市青野 尾谷橋下流	12月13日	34		52
		吉井川 水系 小計		973		1068
2-1	百間川	岡山市中区沖元 百間川中洲	12月18日	697		264
2-2	旭川	岡山市中区中原 三野公園前	12月23日	809		1166
2-3	"	岡山市北区御津矢原	12月19日	111		96
2-4	"	岡山市北区建部町吉田 中吉橋上流	12月13日	44		66
2-5	"	岡山市北区建部町鶴田 浮桙上	12月16日	50		53
2-6	"	美咲町栃原 旭川ダム湖 浮桙上	12月16日	0		0
2-7	砂川	岡山市東区瀬戸町笹岡 砂川	12月15日	5		36
2-8	二井用水	赤磐市桜ヶ丘西 二井大池	12月14日	35		42
2-9	丸島新田	岡山市南区箕島 竹田下池	12月24日	58	新規ねぐら	—
		旭川 水系 小計		1809		1723
3-1	汐入川	倉敷市水島川崎通り 汐入川遊水池	12月17日	478		663
3-2	高梁川	倉敷市酒津 清音古地の対岸 八幡山裾	12月8日	425		337
3-3	"	総社市福谷	12月9日	65		79
3-4	"	高梁市玉川町玉	12月21日	45		178
3-5	成羽川	高梁市備中町布賀黒鳥(黒鳥ダム下流)	12月19日	24		38
3-6	成羽川	高梁市備中町平川 新成羽川ダム湖	12月18日	0		0
3-7	西川	新見市哲多町宮河内 河本ダム	12月21日	35		79
3-8	稲木川	井原市木之子町 蛭田池	12月24日	196		166
		高梁川 水系 小計		1268		1540
4-1	片上湾	備前市 片上湾 前島	12月17日	0		0
4-2	牛窓町	瀬戸内市牛窓町鹿忍	12月22日	215		397
4-3	児島湾	岡山市南区宮浦 高島	12月20日	536		657
4-4	児島湾	岡山市東区豊田 鳩島	12月17日	16		88
4-5	水島灘	倉敷市児島通生 葛島	12月16日	461		476
4-6	深山公園	玉野市田井 深山公園 中池	12月14日	90		43
		海岸域および河川以外の場所 小計		1318		1661
調査か所33か所中 29か所のねぐらでのカワウ生息数 総計				5368		5992

各河川水系における出現割合を図－１に示す。

図－１ 令和 ６年度 各河川水系における出現割合図



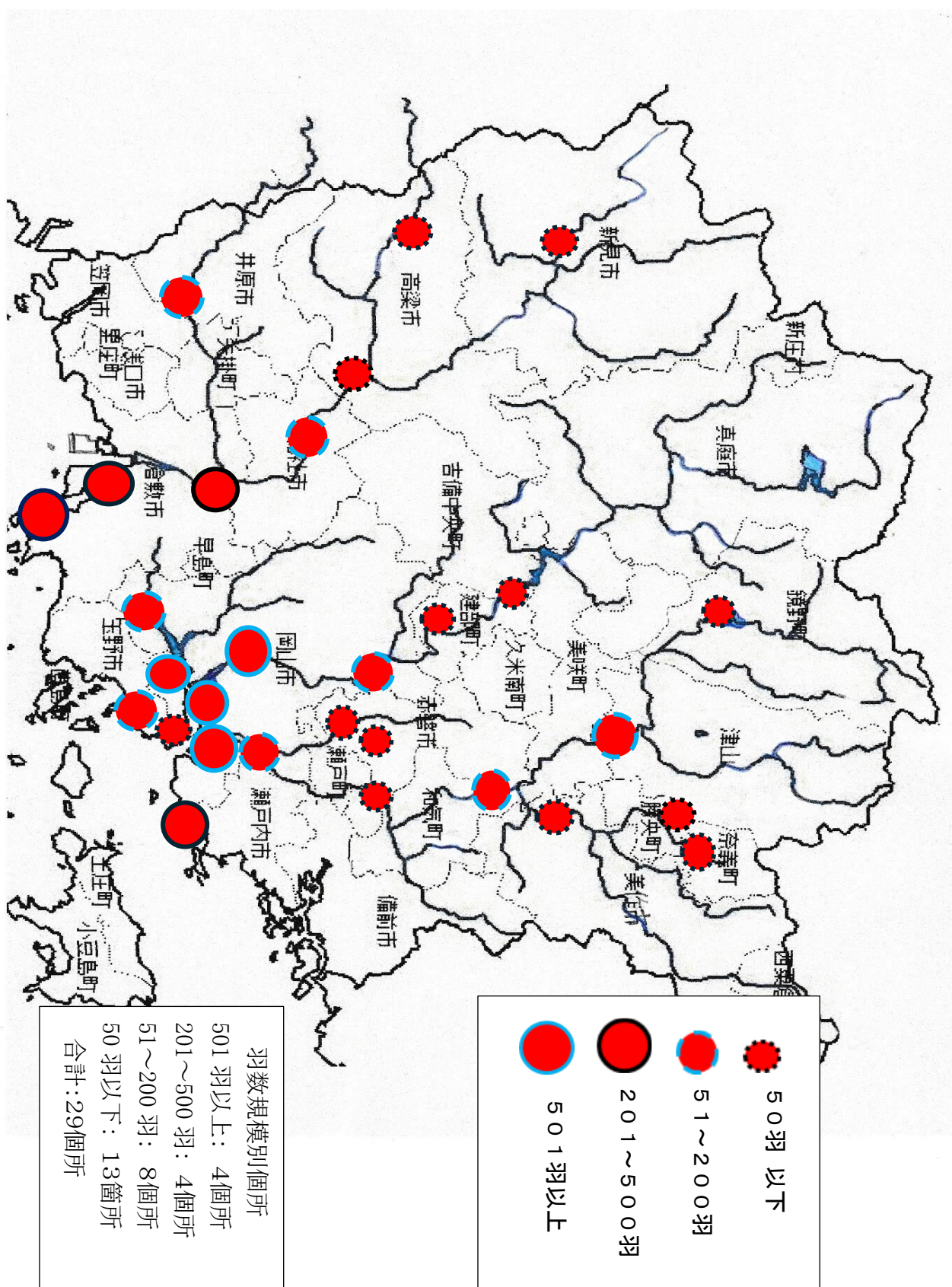
図－２ 令和 ５年度 各河川水系における出現割合



昨年と比較して624羽減少であった。一昨年と比較すると942羽減少している。旭川水系でやや割合が増加し、海岸域の割合が少し減少、吉井川水系、高梁川水系では割合の変化がほぼ無かった。

ねぐらが確認された場所を図-3に示す。

図-3 カワウの冬季ねぐらが確認された場所図



5. まとめ

令和6年度、冬期における岡山县内に生息するカワウの個体数を夕刻に「ねぐら入り」する羽数をカウントした調査結果は、総数5,368羽であった。

今年度、春の繁殖期にコロニー等でカウントした羽数は2,559羽であったから、この繁殖期の羽数と比較すると冬期には2,809羽増加している。

また、昨年の冬期羽数は5,992羽であったから今期は624羽減少している。

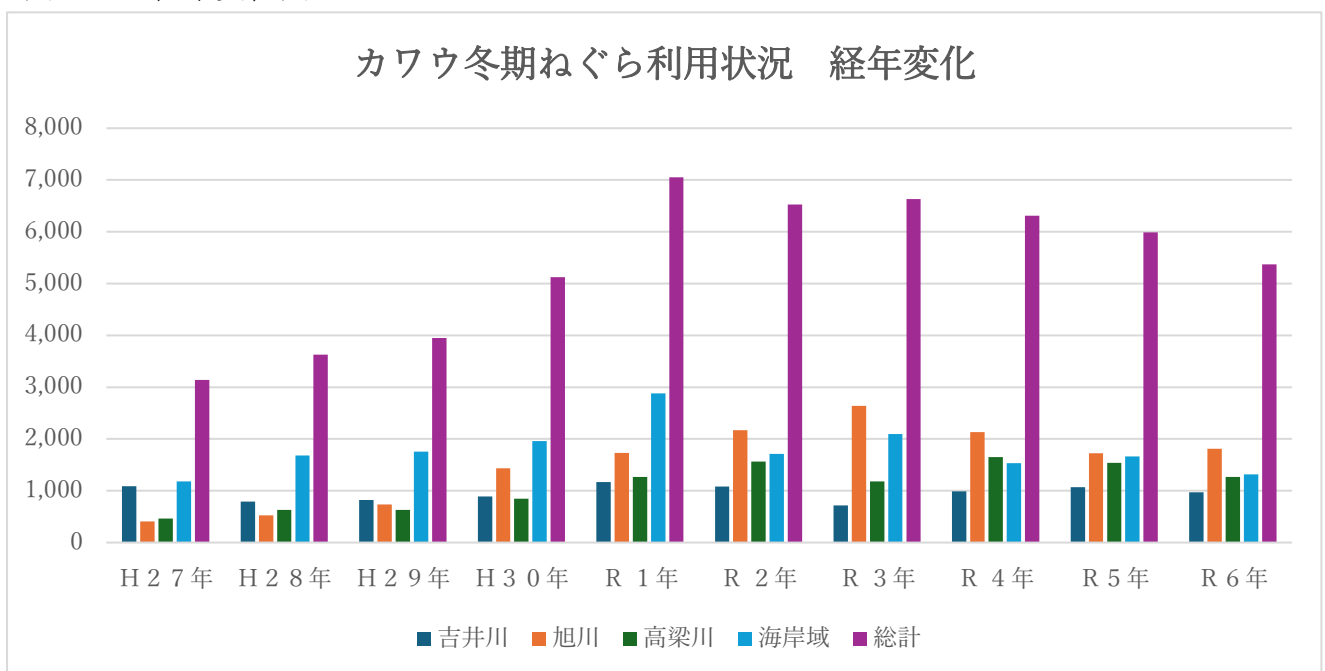
近年、少しずつであるが減少傾向にあり、最大羽数を数えた令和元年の7,053羽と比較すると1,685羽の減少となっている。

今年度確認された冬期羽数の10年間の推移を表-2に示す。

表-2

年度	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
羽数	3,140	3,629	3,949	5,125	7,053	6,525	6,631	6,310	5,992	5,368

図-4 経年変化図



各水系において、旭川水系が若干増加しているが、残り3水系は共にその羽数が減少している。これは各水系でのねぐらの大きさ、ねぐらの個数に大きく影響している。

今年大きく羽数が増えたのは百間川中州の羽数であった。逆に三野公園前がねぐらの樹木が枯れ減少している。同様に牛窓町鹿忍の池の樹木も枯れ羽数が減少している。

津山市宮尾のねぐらは昨年復活していたが、今年は防鳥ネットが張られカワウが確認できなかった。また、岡山市箕島に新たなねぐらが確認されている。

(完)